

StickC ファームウェアの書き込みとプログラムのプッシュ

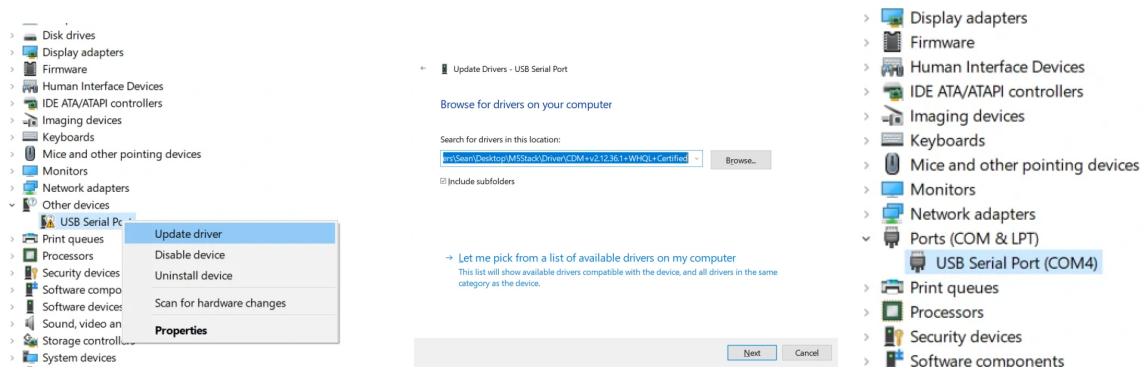
1. 準備

- [UIFlow Web IDE教程](#)を参照し、UIFlowの基本フローを理解し、M5Burnerファームウェア書き込みツールのインストールを完了してください。
- M5Burner内で、StickCに適合のファームウェアをダウンロードしてください。下記の図を参考にしてください。



2. USBドライブを搭載する

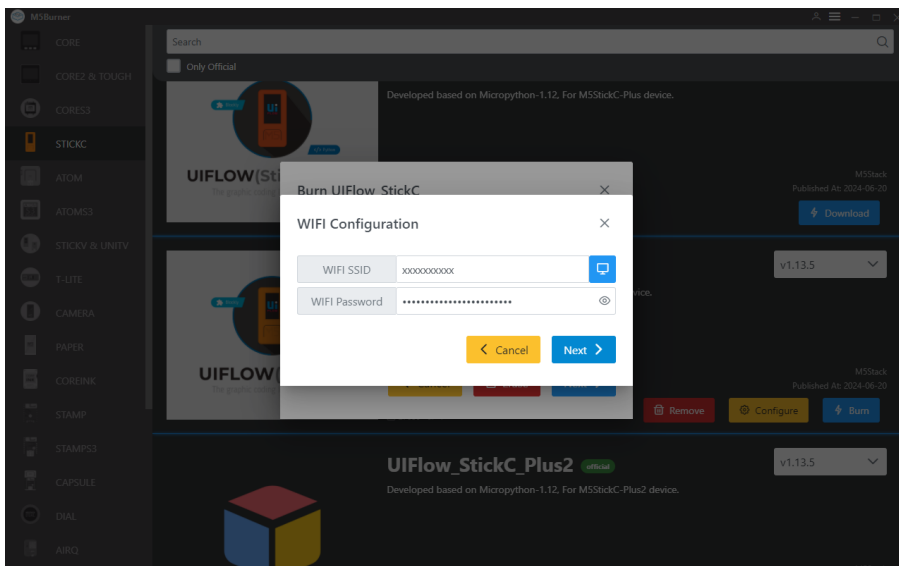
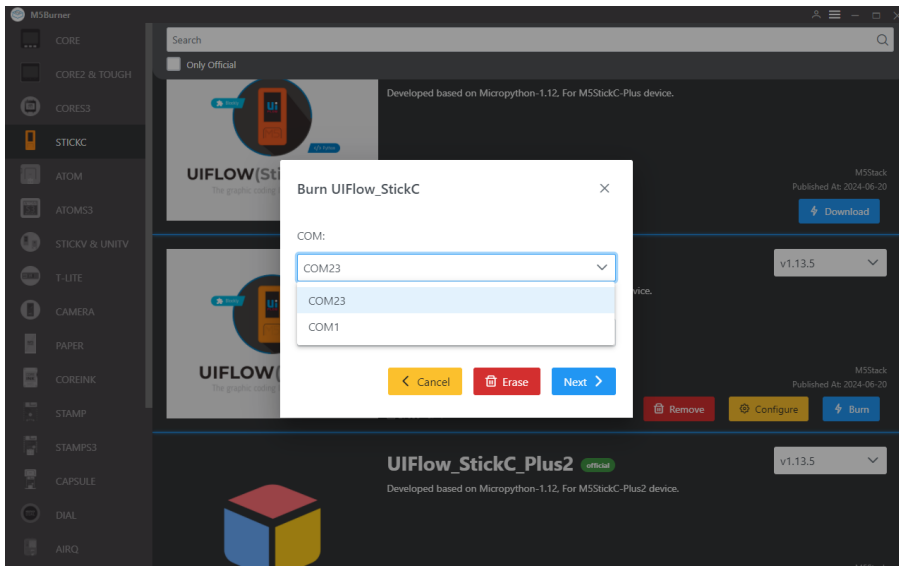
デバイスをPCに接続し、デバイスマネージャーを開いて[FTDIドライバ](#)をインストールしてください。Windows 10環境を例にとると、OSに合致のドライバファイルをダウンロードし、解凍後、デバイスマネージャーを通じてインストールを行います。(注:一部のシステム環境下では、ドライバを2回インストールする必要があることがあります。未認識のデバイス名は通常StickCやUSB Serialです。Windowsでは、推奨する方法は、ドライバファイルをデバイスマネージャー内で直接インストール(カスタム更新)することで、実行ファイル方式のインストールは正常動作しない可能性があります)。[FTDIドライバをダウンロード](#)



MacOSユーザーは、インストール前にシステム環境設定 -> セキュリティとプライバシー -> 一般 -> 認証された開発者のアプリを許可のチェックを入れてください。

3.ポートの選択

1.デバイスをUSBケーブルでPCに接続し、M5Burner内で対応ファームウェアのBurnボタンを押し、WiFi情報を入力し、対応デバイスポートを選択してください。



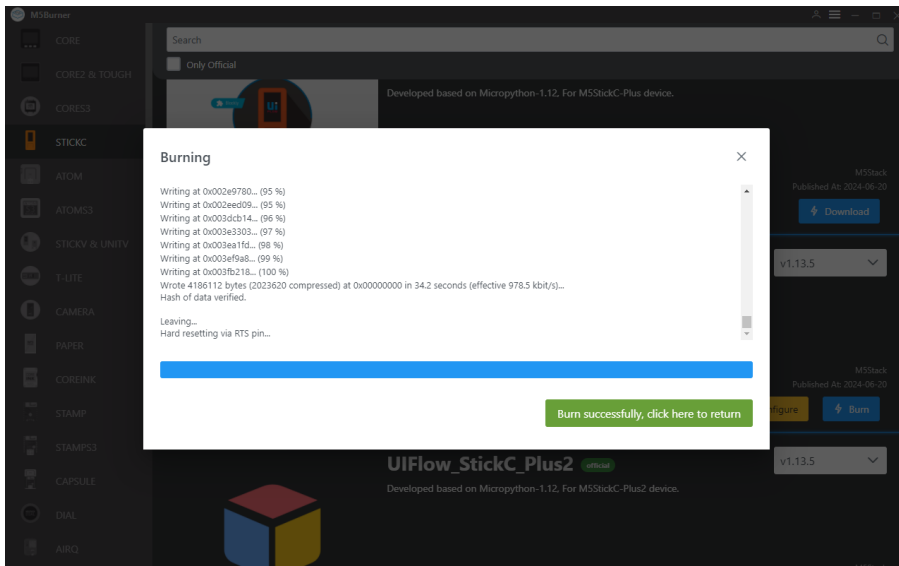
4.ファームウェアの書き込み

1.Startボタンを押し、書き込みを開始してください。

ご注意

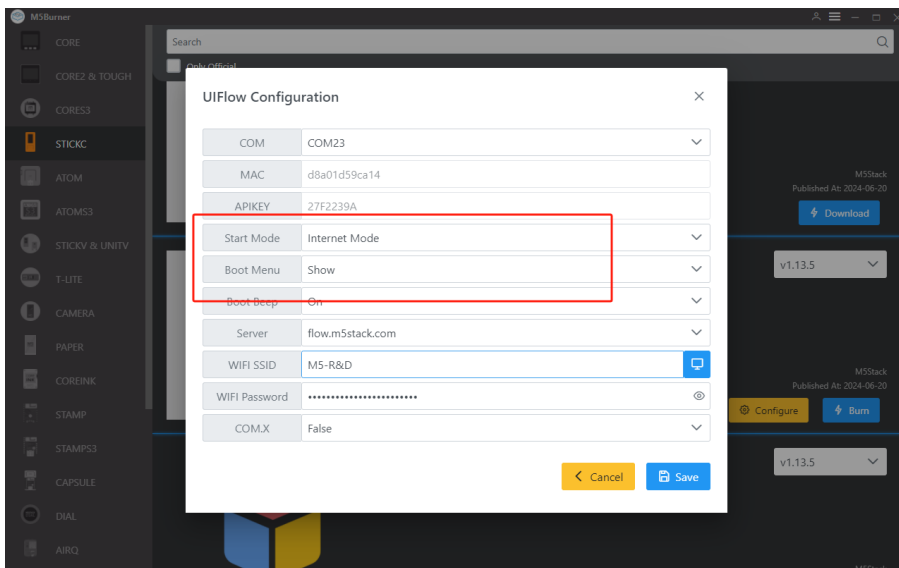
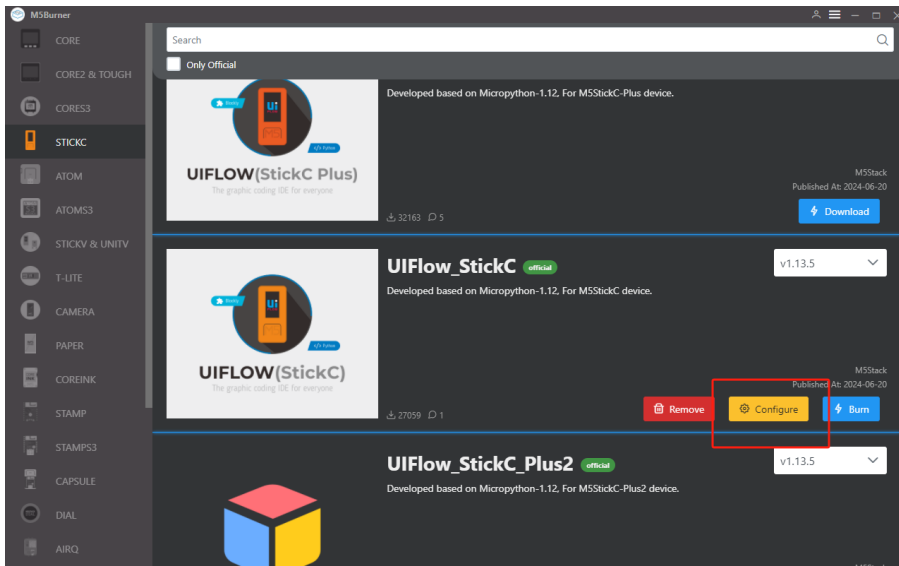
焼き込み中にエラー（書き込み失敗）や接続タイムアウトが発生した場合：

- ポートの使用状況を確認し、占有されていないことを確認する。
- USB ケーブルを交換し、再度接続を試みる。
- ボーレートを下げ、通信速度を調整する。



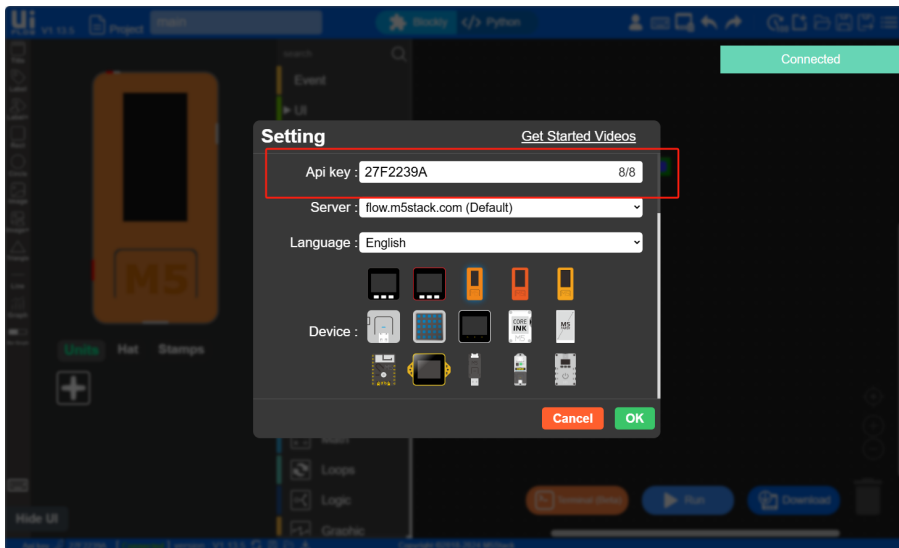
5.API KEY

1.ファームウェアの書き込みを完了後、デバイスは再起動し、USB接続を維持します。M5Burner内で **Configure** オプションをクリックし、対応ポートを選択し、 **Load** をクリックして当該デバイスの設定をロードしてください。成功後、弹出ウィンドウで当該デバイスの **API KEY** 、 **Start Mode** 等の情報が表示されます。この時点で、API KEY情報をコピーして保存し、後続のステップで使用してください。注：本例ではUIFlow Web IDE(Web版)を使用してプログラミングを行いますので、**Start Mode** は必ず **Internet Mode** に設定してください。



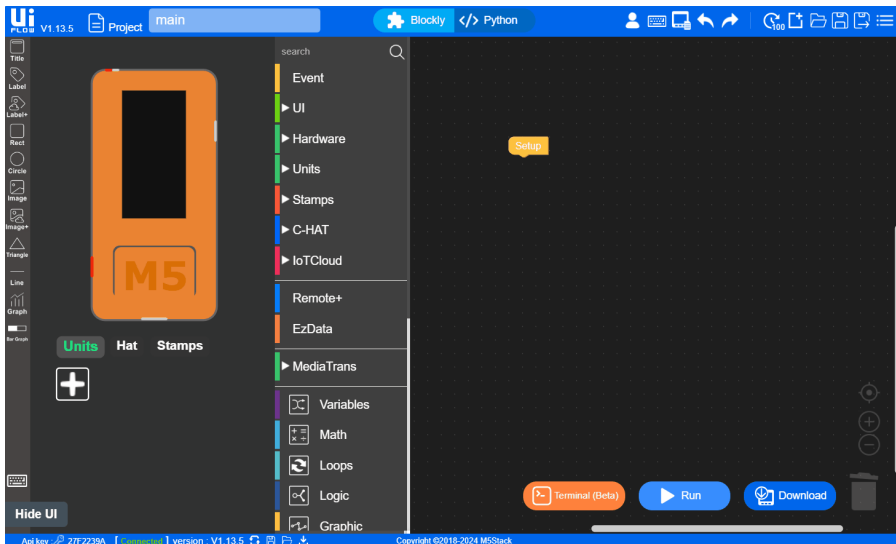
2.デバイスをオンラインプログラミングモードに設定後、API KEYを利用してデバイスとUIFlowの接続を確立し、指定のデバイスにプログラムをプッシュする必要があります。ユーザーはPCのブラウザでflow.m5stack.comを開き、UIFlowのプログラミングページにアクセスしてください。

3.ページの右上のメニューバー内の設定ボタンをクリックし、前のステップで取得したAPI KEYを入力し、OKをクリックして保存し、接続成功のメッセージを待ちます。



6.RUN

1.上記の手順を完了したら、UIFlow でプログラミングを開始できます。UI コントロールを追加し、右上隅にある実行ボタンをクリックします。



7.USB プログラミングモード

- UIFlow Desktop IDE の使い方を参照し、UIFlow Desktop の基本インストールフローを理解し、基本的な使用法を把握してください。以下の操作を参考に、デバイスを USB プログラミングモードに設定

UIFlow Configuration

COM	COM16	▼
MAC	083af2438f50	
APIKEY	19E97B56	
Start Mode	USB Mode	▼
Boot Menu	Show	▼
Boot Beep	On	▼